

こっこめ通信 07 2008

「不思議がいっぱい」号



八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて「こっこめ」とよびます。

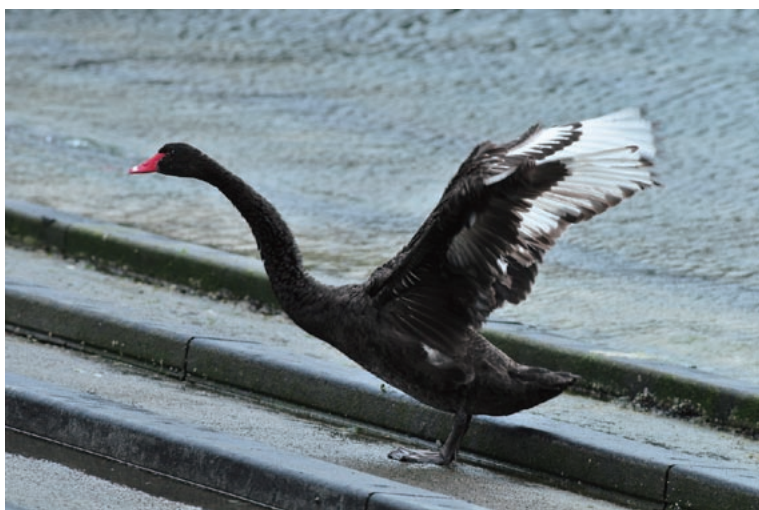
今年は例年よりも6日、昨年よりも20日早く6月2日に梅雨入りが発表されました。島では梅雨入りしてからすでに430mmの雨が降っています。今年は台風の影響などで雨が多いので早く梅雨明けしてほしいものです。

また、リュウキュウツヤハナムグリが飛び回る頃ですがなんだか数が少なく感じます。そろそろツクツクボウシも鳴きだす時期、虫の活動が遅れているので初鳴きも遅れそうですね。

さて、今回は、「不思議な鳥がやってきた」「涼を求めて・島の滝めぐり」のお話です。

不思議な鳥がやってきた

5月31日、島の西側にある八重根漁港に「黒い大きな鳥がいる」と連絡がありました。確認しに行ってみるとなんと「コクチョウ」でした。さらに6月2日には中之郷の畑に「顔が白と黒で見かけない鳥がいる」との情報。今度は何か？と確認しに行くと「シジュウカラガン」でした。5月29日から島の近くを低気圧が通過して東北東の強風が吹きましたが、なぜこの鳥たちが島にたどり着いてしまったのか不思議でなりません。



コクチョウはハクチョウの仲間でオーストラリアなど南半球で見られる鳥です。体は黒く、翼の先（初列風切）は白、嘴が赤いのが特徴です。日本では飼い鳥として飼育されている場所が多数あります。飼育されている鳥には脚輪などがついていますが、島にたどり着いたコクチョウにはありませんでした。

飛来した当初はあまり元気がありませんでしたが、漁師さんや港の近くの人たちが投げ入れるパンなどを食べて元気になってきました。港で釣りをしている人たちには少し迷惑がられていますが、今では港の人気者です。

この先どうすればよいのでしょうか？

シジュウカラガンは、以前冬鳥として宮城県などに多数渡来していました。しかし今では少数が渡ってくるだけになっています。

頭から首は黒く、頬から喉は白、首の付け根の白い輪も特徴です。日本で半野生化しているカナダガンは白い首輪がありませんからシジュウカラガンに間違いないようです。

このシジュウカラガンは確認した数日前には空港周辺にいたという情報もあり、5月末の東北東の風に乗ってきたのは間違いないさそうです。すでに旅立っているはずの冬鳥がなぜ風に乗ってやってきたのか、考えれば考える程謎は深まるばかりです。



「アカコッコ」は日本固有のツグミ科の鳥で、国の天然記念物に指定されています。八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

涼を求めて・島の滝めぐり

島の南東に位置する三原山系にはいくつかの川があり、その途中には「滝」があります。常時落水している滝から降水量が多いときだけ落水する幻の滝、大きな滝や小さな滝などさまざま。今回は代表的な七つの滝を紹介します。暑い季節、滝周辺では流れ落ちる水しぶきが気持ちよく、暑さも忘れさせてくれますよ。涼を求めて島の滝めぐりをしてみたいはいかがですか？ 途中危険な場所もあるので無理はしないでください。



① 唐滝（白滝）

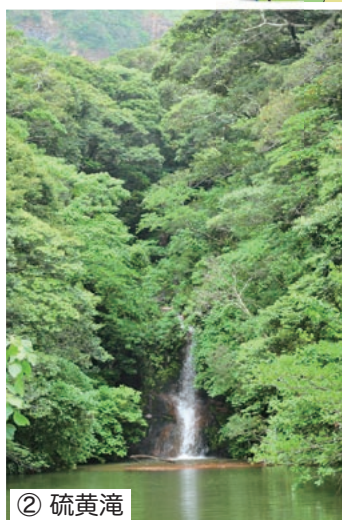
唐滝川の上流にある「白滝（五十房滝）①」は現在は「唐滝」と呼ばれています。落差 36m、常時落水している滝として島で一番の滝。滝つぼ周辺には硫黄採掘跡もあります。道はあまりよくありませんがトレッキングコースにもなっていて、途中には硫黄沼と「硫黄滝 ②」があります。

中之郷にある「裏見ヶ滝 ③」は滝の裏に江戸時代に溶岩を切り開いて通した道があり、裏から滝を見ることができます。周辺には水着で入る温泉や足湯などもあります。

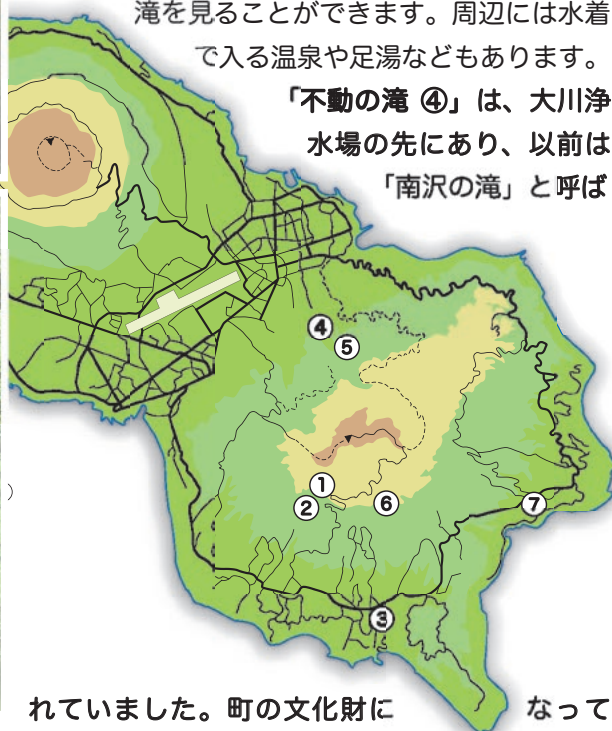
「不動の滝 ④」は、大川浄水場の先にあり、以前は「南沢の滝」と呼ば



④ 不動の滝



② 硫黄滝



⑤ 大滝



③ 裏見ヶ滝

れていました。町の文化財になっている不動明王の石像もあります。現在は道が一部崩壊して行くことができません。

大川上流には岩肌を滑り落ちるような「大滝 ⑤」があります。滝つぼには放流したヤマメの姿も見られますが、滝までの道程には垂直な岩を登る場所があるので注意が必要です。

大雨が降った後に見られる幻の滝「三原の滝 ⑥」は滝の近くまでは行けませんが、都道から少し上がった旧中之郷小学校付近から見られます。

末吉洞輪沢の「名古の滝 ⑦」は断崖の途中から流れ出た水が滝となって落ちています。洞輪沢漁港から見上げると流れ落ちる滝が見られます。



⑦ 名古の滝

島の滝の落水状態とアクセス難易度

	唐滝	硫黄滝	裏見ヶ滝	不動の滝	大滝	三原滝	名古の滝
落水	常時	常時	常時	大雨の後	常時	大雨の後	常時
アクセス	やや難	やや難	比較的楽	難	極めて難	遠くから楽	遠くから楽

八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは、毎月第二日曜日に、植物公園の生きもので季節を感じようという趣旨で、「八丈植物公園季節調査会」を開催しています。毎回見られる植物がどのように変化していくか、また、どんな鳥や植物が見られるかも観察しています。今回は6月8日(13時30分～15時)に行いました。

八丈植物公園季節調査 (平成20年第6回) 参加者・黒田, 沖山, VC 菊池

NO.	和名 (島名)	状態	NO.	和名 (島名)	状態	NO.	和名 (島名)	状態
草本			40	チチコグサモドキ	実	12	トベラ	若い実
1	アオカモジグサ	実	41	ツメクサ	花と実	13	ニオイウツギ	花
2	アオスゲ	実	42	ツククサ	花	14	ハゼノキ	若い実
3	アオノクマタケラン	咲き始め	43	トウバナ	実	15	ハチジョウイボタ	花
4	アカバナリハコベ	花	44	トキワツククサ	花	16	ハチジョウキブシ	実
5	イヌガラシ	花と実	45	ドクダミ	花	17	ヒサカキ	若い実
6	ウスベニチチコグサ	花	46	ナギナタガヤ	花と実	18	ホウライカズラ	蕾
7	ウスベニナガナ	花	47	ナンゴクネジバナ	花	19	ホルトノキ	蕾
8	ウマノミツバ	花と実	48	ヌカススキ	殻が残る	20	モッコク	蕾
9	ウラシマソウ	実	49	ハキダメギク	花と実	21	ヤナギイチゴ	実
10	ウラジロチチコグサ	花と実	50	ハチジョウアザミ	花	22	ヤブツバキ	実
11	オオニワゼキショウ	花と実	51	ハチジョウテンナンショウ	実	23	ヤブニッケイ	花
12	オオバコ	実	52	ハナイバナ	花と実	シダ植物		
13	オニタビラコ	花と実	53	ハナヌカススキ	実	1	ミゾシダ	
14	オランダミミナグサ	実	54	ハハコグサ	花と実	2	ホシダ	
15	カタバミ	花と実	55	ハルジオン	咲き残り	3	ナチシケシダ	
16	カモジグサ	実	56	ヒナギキョウ	花と実	4	タチクラマゴケ	
17	カラスノエンドウ	実	57	ヒメクグ	実	5	タチシノブ	
18	ギシギシ	実	58	ヒメコバンソウ	実	6	オニヤブソテツ	
19	キランソウ	花	59	ヒメジョオン	花	7	ヘラシダ	
20	クグ	実	60	マツバウンラン	実	8	タマシダ	
21	クサイ	実	61	マツバゼリ	花	9	ヤマイトチシダ	
22	ケキツネノボタン	花と実	62	ミツバ	花と実	10	ハチジョウカナワラビ	
23	コケミズ	花	63	ムラサキカタバミ	花	11	カニクサ	
24	コケリンドウ	花と実	64	ヤブタビラコ	花と実	12	スギナ	
25	コシロノセンダングサ	花と実	65	ヤマカモジグサ	実	13	ホラシノブ	
26	コセンダングサ	花と実	66	ヨツバハコベ	花	14	オオタニワタリ	
27	コナスビ	花と実	67	ヨツバムグラ	実	15	ハチジョウシダ	
28	コマツヨイグサ	花と実	木本			16	ノキシノブ	
29	コメツブツメクサ	花と実	1	アカメガシワ	花	17	コハナヤスリ	
30	コモチマンネングサ	花	2	イヌビワ	実	18	ヒトツバ	
31	シチトウスミレ	実	3	エノキ	実	19	ハチジョウベニシダ	
32	シマササバラ	花が盛り	4	オオシマザクラ	実	20	マメヅタ	
33	シマホタルブクロ	蕾	5	オオムラサキシキブ	蕾	21	ハカタシダ	
34	シロバナマンテマ	花と実	6	ガクアジサイ	花	今回はシダ植物 21 種を含め、111 種の植物を観察しました。参加人数が少ないと記録される種数が多くなる傾向があるのはなぜでしょうか？		
35	スズメノカタビラ	実	7	カジイチゴ	実			
36	スズメノヤリ	実	8	カラスザンショウ	蕾			
37	セイヨウタンポポ	花	9	クワ sp.	実			
38	セリ	花と実	10	タブノキ	実			
39	チガヤ	実	11	テイカカズラ	花			

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、「ハチジョウビロウドカミキリ」にスポットを当ててみたいと思います。



ハチジョウビロウドカミキリ *Acalolepta hachijoensis*

八丈島・御蔵島に分布するカミキリムシ科の甲虫。

大きさは 20 ～ 25mm、体は暗褐色の微毛で覆われ光沢があります。5 月末～ 7 月頃に灯火に集まります。アカメガシワから発生したのを確認しましたが、他にも寄主植物があるかは不明です。

2008 7

八丈ビジターセンター プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島（神湊）の潮の満ち引きの時刻です。
左側が満潮時刻、右側が干潮時刻です。また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	● 3	4	5 ガイドウォーク
		02:06 09:29 17:06 22:00	03:03 10:20 17:53 22:51	03:57 11:09 18:35 23:35	04:48 11:54 19:12	05:38 00:16 19:45 12:37
6 ガイドウォーク	小暑 7	8	9	☾ 10	11	12 ガイドウォーク
06:26 00:56 20:15 13:17	07:14 01:38 20:41 13:54	08:03 02:22 21:06 14:28	08:58 03:12 21:31 15:00	10:08 04:10 22:00 15:33	11:51 05:19 22:38 16:13	14:01 06:33 23:32 17:20
13 ガイドウォーク 植物公園 季節調査会	14	15	16	17	○ 18	19 ガイドウォーク
07:40 00:02 15:30 19:13	00:44 08:35 16:19 20:51	01:53 09:21 16:54 21:48	02:48 10:01 17:25 22:28	03:34 10:39 17:53 23:00	04:15 11:13 18:20 23:31	04:53 11:47 18:46
20 ガイドウォーク 夏休み特別行事 「夜の昆虫観察会」	21 ガイドウォーク	大暑 22	23	24	25	26 ガイドウォーク 八丈学講座 「川の生きもの観察会」
05:32 00:02 19:12 12:20	06:11 00:35 19:39 12:53	06:53 01:11 20:05 13:26	07:39 01:51 20:31 14:00	08:31 02:36 20:58 14:34	09:36 03:28 21:27 15:11	11:10 04:33 22:03 15:53
27 ガイドウォーク 夏休み特別行事 「三原山縦断 トレッキング」	28	29	30	31		この色の日は 特別行事がありません
13:31 05:51 22:56 17:00	15:31 07:13 19:20	00:25 08:26 16:29 21:13	01:57 09:26 17:08 22:09	03:07 10:17 17:41 22:50		

イベントプログラム

植物公園季節調査会

植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じましょう！

7/13 (13:30～ 約1時間半) 中学生以上
ビジターセンター集合・解散 無料 定員：15名

夏休み特別行事 「夜の昆虫観察会」

毎年恒例の夜の虫観察会。植物公園内で夜に活動する昆虫を探して観察します。今年は何が出るかな？
7/20 (19:30～ 約1時間半) 小学生以上（低学年は保護者同伴）
ビジターセンター集合・解散 参加費：50円 定員：20名

八丈学講座 「川の生きもの観察会」

毎月行っている八丈学講座。今月は、鴨川でエビやカニなど、川の生きものを探して観察します。
7/26 (13:30～ 約1時間半) 中学生以上
鴨川ホテル水路集合・解散 参加費：50円 定員：15名

夏休み特別行事 「三原山縦断トレッキング」

今年は山頂付近が工事のため、縦断コースに近いコースを設定して開催します。
7/27 (9:30～ 約6時間) 小学生以上（低学年は保護者同伴）【8/10にも開催します】
ビジターセンター集合・解散 参加費：500円 定員：20名

ビデオプログラム

10:00～ 八丈・海・生きものたち

11:00～ おじゃりやれ 八丈島

14:00～ おじゃりやれ 八丈島

15:00～ おじゃりやれ 八丈島

16:00～ 八丈・海・生きものたち

上記以外での上映は予約にて可能です

東京都八丈ビジターセンター 2008.7.1 第86号

開館時間 9:00～16:45 年中無休（入場無料）

〒100-1401

東京都八丈島八丈町大賀郷2843

電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888

（ホームページでは「こっこめ通信」をカラーで見ることができます）

編集後記

撮影しなければいけない植物がたくさんあります。しかし今年は開花が大幅に遅れています。時期を逃すとまた一年待たなければなりません。島のガソリンは200円をこえて、何度も見に行く訳にはいかず……。 (高)